

館の運営方針	第2次・佐倉市立公民館活動計画を踏まえ、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。
ジャンルの目標	
親子のふれあいや日常生活の中から、幼児の自主性と豊かな心を育てるとともに、親同士の交流をはかり、楽しみながら「育児は育児」ということを母親が体験してもらう。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	お母さんと遊ぼう	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り、子どもと親が共に成長する「育自」を体験する講座。親同士の交流を図り、地域の中で、子育てを考える。
②	笑顔で子育て応援講座	子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	お母さんと遊ぼうについては、16回の講座で行っており、幼児の体調面や(兄弟が通っている)幼稚園などの行事などで欠席となり、参加率が低いときがあった。また、笑顔で子育て応援講座については、小学生とその親を対象としているので、実施時期についても検討していく必要がある。	
改善	次年度への課題と展望策	B	A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ( )

総合評価	
A 事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。	成果 お母さんと遊ぼうについては、2歳児を持つ親同士の情報交換と仲間意識の醸成をはかることができた。
	課題 お母さんと遊ぼうでは、欠席をなるべく少なくする方法などについて検討する必要がある。また、児童センター等との事業の調整が必要である。

★公民館運営審議委員意見

委員①	★事例発表の事業について ・全体のコミュニケーションを図るためにグループわけを数回やってみてはどうか。 ・児童館と重複しないようにプログラムを立てる必要がある。 ・少しプログラムの数が多いのではないか。
総合評価	A

委員②	★事例発表の事業について プログラムがしっかりといてバラエティーに富んだ内容が紹介されており、とてもよいと思います。
総合評価	A

委員③		★事例発表の事業について 自然体験も取り入れたり、とても工夫されていて、よろしいかと思います。
総合評価	A	

委員④		★事例発表の事業について ・全16回の長期間の事業ですが、事業内容が多岐にわたりよく検討がされていると思いました。子どもは遊びを通して色々な事を学んでいます。また、母と子のふれあいを通して子どもの心が大きく成長出来るのでとても大切です。継続してください。 保健師による健康対策や食生活推進委員による栄養の話など事業内容も充実していると思います。
総合評価	A	

委員⑤		★事例発表の事業について 【お母さんと遊ぼう ぽっぽちゃんのお家へ行こう】 写真からは、楽しい親子の様子が溢れんばかり。日頃、家庭の中では体験できない世界が用意されている。毎回、子どもの好奇心は最高潮を更新し続けただろう。狙いどおり、親子の絆や子どもと親の友達づくり、地域での仲間づくりに、大きな成果として現れていると思う。 このような場がいつでも、いくつでもある、というのが一番大切なかもしれない。マジカル・ミステリー・ツアーを続けていただきたい。もう、公民館活動という枠を超えた取り組みが必要なのだと思う。 応募について、当初は「往復はがきで」となっているが、いろいろと事情はあるにしても、これが一つのネックになってはいないだろうか。他の方法では色々課題があるのかも知れないが、電話や事務室窓口での直接申し込みなどは出来ないのだろうか。メールもしかり。多少事務が煩雑になろうとも、応募しやすい方法を検討して頂ければと思う。
総合評価	A	

委員⑥		★事例発表の事業について 約半年で16回の企画で室内外・静と動・地域の人材等の活用などバランスよく計画されています。 親子での事業の参加で母の思いは、これだけ(16回)参加できるかと他の参加者と仲良くなれるかが不安と心配だと思います。 班単位での活動はそんな不安をなく安心して参加でき親同士の交流にもとても効果的だと思います。
総合評価	A	

委員⑦		★事例発表の事業について 一緒に一つのことをすることにより目に見えない効果があると思料されますので事業のアピールを積極的にいき継続を望みます。
総合評価	A	

委員⑧		★事例発表の事業について ・回数が多いという声があるとのことだが、内容がよく練られており、講師の方、他の団体の方々との幅広い交流も評価したい。回数を減らすことで、成果の出ているコミュニケーション面が、希薄にならぬような調整を望む。
総合評価	A	

委員⑨		★事例発表の事業について 講座の趣旨が、子どもの成長を見守りながら親子が共に成長を体験する母親のための講座であり、事業内容はバラエティにとんでおり、また触れ合い体験や地域での仲間づくりを意識した内容になっていて良いと思います。企画の継続を望みます。
総合評価	A	

委員⑩		★事例発表の事業について わりやすく説明がされ、よく理解できた。 発表にもあったが事業内容の項目が多いため参加者が少ない事は次年度から即改善すべき点である。
総合評価	A	

委員⑪		★事例発表の事業について ○ プログラムの幅の広さ、外での活動など活動が工夫されている。 ○ 聞きもらったのかも知れないが、親同士が話し合う活動、或いは一堂に会しての交流などのことがよく分からなかった。
総合評価	A	

委員⑫		★事例発表の事業について 名称の お母さんと遊ぼう「ぼっぼちゃんのお家へ行こう」は 例えば お母さんといっしょ「2、3歳児 ぼっぼちゃん教室」 などとした方が 解かり易くて良いように思う。 募集方法は「しづ」公民館たより だけでなく 広報さくら や 地域新聞 に掲載しても良いと思います。
総合評価	A	

委員⑬		★事例発表の事業について 幅広いカリキュラムで、楽しい内容だと思います。 母親通しの経験交流などと、できれば、父親も含めて話し合うなどの時間も欲しい感じがします。 ⇒1週間毎の開講は、受講生は大変ではないのかと思いますが、アンケートではどういった意見があったのでしょうか？
総合評価	B	